

令和5年度 進路指導専門委員会研修会

実施期日：令和5年11月20日（月）

会 場：埼玉会館 小ホール

主 催：埼玉県高等学校PTA連合会

後 援：埼玉県教育委員会

目 次

次第 2 ページ

発表校資料

(1) 埼玉県立越谷西高等学校 P T A 3 ページ

(2) 埼玉県立川越女子高等学校 P T A 7 ページ

(3) 埼玉県立浦和北高等学校 P T A 11 ページ

(4) 埼玉県立妻沼高等学校 P T A 15 ページ

情報提供

① ペーパーティーチャーセミナー

② キャリアデザインセミナー

③ ハイスクール24還元事業「AED設置推進事業」

令和5年度埼玉県高等学校PTA連合会 進路指導専門委員会研修会 次 第

日時 令和5年11月20日(月)
場所 埼玉会館 小ホール

- 受付 9:30~10:00
【司会・進行】 埼玉県立小川高等学校PTA会長 木坂 倫久
- 1 開会のことば(10:00)
埼玉県立浦和北高等学校PTA会長 石井 祐子
- 2 開会行事(10:00~10:10)
(1) 委員長あいさつ 埼玉県立越谷西高等学校PTA会長 間中 辰徳
(2) 講評者紹介 (司会)
(3) 発表者・校長の紹介 (司会)
- 3 研究協議(10:10~11:30)
(1) 実践発表 (各校20分)
- | | | |
|------|--|-------|
| 東部支部 | 埼玉県立越谷西高等学校PTA会長
【進路指導委員会 越谷西高校PTA活動】 | 間中 辰徳 |
| 西部支部 | 埼玉県立川越女子高等学校PTA副会長
【進路指導とPTA】 | 坂口 尊恵 |
| 南 支部 | 埼玉県立浦和北高等学校PTA会長
【進路実現を目指して】 | 石井 祐子 |
| 北部支部 | 埼玉県立妻沼高等学校PTA会長
【妻沼高校の進路指導に関わるPTA活動】 | 飯田 聡子 |
- (2) 質疑応答
(3) 講 評 (11:40)
埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課 指導主事 青木 隆一郎 様
- 4 情報提供
埼玉県高等等学校PTA連合会より 事務局 川田 清隆
- 5 閉会のことば(12:00)
埼玉県立浦和北高等学校PTA会長 石井 祐子



進路指導委員会 越谷西高校 PTA 活動



1 学校概要

本校は創立45年となる全日制普通科各学年8クラス規模の学校です。越谷市、春日部市、さいたま市を筆頭に東部地区の中学校からの進学が多く、地元根付いた学校です。運動部・文化部共に盛んな学校であり、陸上部や新聞放送部、応援部などは近年全国大会に出場しており、保護者からの部活動に対する期待も大きいです。約7割の生徒が大学・短大に学校推薦型・総合型選抜を中心に進学し、2割の生徒が専門学校、就職する生徒も一部おり、例年進路決定率は9割以上で推移しています。これらのことから、真面目で素直な生徒が多く、授業・部活動に対して熱心に取り組み、比較的落ち着いた雰囲気のある学校といえると思います。

(1)教育目標

憲法・教育基本法の精神に則り

人権を尊重し責任を重んじ協調性に富んだ人間を育成する。

豊かな教養と情操を身につけ、向学心旺盛な人間を育成する。

強健な身体と強固な意志を有し、創造的精神に満ちた人間を育成する。

(2)目指す学校像

すべての授業、部活動、行事等をとおしてやり抜く力と協働する力を伸ばす学校

(3)本年度の重点目標

- ・主体性ととも、展望する力、筋道をつける力、困難を挫折にしない復元力等の「困難を乗り越えものごとを成し遂げる力」を獲得させる。～個としてのやり抜く力～
- ・社会の一員としての自己認識、あらゆる他者を尊重し思いやる豊かな情操、様々な変化や多様な考えを受け止める柔軟性や当事者意識、対話を重ねる参画意識等を醸成する。また情報を取捨選択するリテラシー、知識・技能を関連づけ、問題解決を導く批判的思考力、合意形成を踏まえ納得解や新たな価値を導く創造性を伸長する。～他者と協働する力～
- ・中学校、保護者、地域から信頼される学校づくりを推進する。

2 本校のPTA 活動

(1)目的と事業

【目的】

本会は、学校と家庭との密接な連絡を図り、もって本校教育の充実発展を期することを目的とする。

【事業】

- ・学校と家庭の連絡に関する事。 ・学校の教育環境の整備に関する事。
- ・教育の向上、充実のための調査研究及び学校行事への協力に関する事。
- ・会員の研修及び親睦に関する事。 ・職員、生徒の福利厚生に関する事。
- ・会員、生徒の表彰、慶弔に関する事。
- ・社会教育の向上及び地方文化の振興に関する事。
- ・その他必要な事。

(2)組織

- ・会長 1名 副会長 若干名(校長を含む) 常任理事 若干名 理事 若干名 監事 3名 幹事 若干名 顧問 若干名 で構成。
- ・委員会

広報委員会	PTA 広報誌『翔鷹』の年3回の発行
生活委員会	「ちょっとボランティア」の実施 文化祭展示の実施 ロードレース大会や体育祭の監察・応援
進路研修委員会	進路講演会・大学見学会の実施

(3)PTA 事業(今年度)

- 4月 入学式、PTA 入会式、新理事選出、第1回理事会
- 5月 PTA・後援会 総会、進路講演会
- 6月 体育祭、第2回理事会
- 7月 大学見学会、PTAだより第133号発行
- 8月 第3回理事会
- 9月 文化祭 PTA 展示
- 11月 第4回理事会、ちょっとボランティア
- 12月 PTAだより第134号発行
- 1月 第5回理事会、AED 講習会
- 2月 ロードレース大会、常任理事会
- 3月 PTAだより第135号発行、卒業を祝う会

3 本校の進路指導

(1)進路実績

慶應義塾大や青山学院大、立教大、中央大などの超難関校に一般選抜で合格した生徒がいました。また、埼玉県立大、獨協大学外国語学部にも一般選抜で合格しています。さらに、総合型選抜や公募制の推薦では國學院大學、駒澤大学に合格者を出しています。看護系でも春日部市、川口市、さいたま市の公立看護専門学校に合格者がいます。学びたい学校、自分のやりたいことができる学校を選んだ生徒が多かったように感じます。

2022年度卒業生進路状況

進学							就職				計	浪人・未定	卒業生数
大学		短大		専門学校		計	民間		公務員				
男子	女子	男子	女子	男子	女子		男子	女子	男子	女子			
131	70	2	11	20	45	279	3	0	2	0	5	20	304

2022年度は2023年3月24日現在

(2)進路の取り組み

1学年 職業について

保護者の方の仕事の内容を知らないという生徒もいます。働くということはどんなことなのか、社会に出て活躍するというのはどんなことなのか、職業を調べることによって学びます。

2学年 進むべき道を探る

進学、就職という方向性を考えます。オープンキャンパスに行き行って学びの場について体感します。分野別ガイダンスを通して具体的な自分の道を見つけ出します。

3学年 自分の進路を実現する

進学補習や就職公務員勉強会など実践的な取り組みを行います。

【具体的なスケジュール】

1年 スタディーサポート、自分の基礎学力を知り対策を立てます。

進研模試で実践的に実力を測ります。

2年 オープンキャンパス、授業体験などで卒業後の自分の姿を描けるようにします。スタディーサポート、進研模試は2年生も実施します。また、3年生による合格体験者座談会なども行います。

3年 ひたすら勉強

自分の進路に従った対策、学習への取り組みを行います。

4 本校のPTA 進路研修委員会の取り組み

(1)進路講演会

2023年5月12日、進路講演会を株式会社ライセンスアカデミーの宇佐美正利様をお招きし開催しました。講師の先生が「進路と高校生活・社会が求める人物像 生徒の残念な勘違い&家庭の支援」という題目でお話くださったとき、まず第1にあげた例が、保護者面談で「本人に任せています」というのはダメだということでした。

もちろん、はっきりした進路希望と、その実現への計画ができている一部の生徒は本人に任せられると思います。しかし、大半の生徒は、社会についても、仕事についても、十分な知識をもっていません。それだけでなく、自分自身についてさえ、客観的に判断できているとはかぎりません。

受験生へのアンケートでは「自分の好きなことをしなさい」「自分で考えなさい」「資格をとりなさい」と言われても、どうしていいかわからないという答えがあったそうです。

また、親の高望みや、「お前には無理だ」といった発言は子供を傷つけているようです。逆に、どんなことも熱心に聞いてくれたり、「お金のことは心配するな」といつてくれたりしたことには感謝しているそうです。家庭での子供への支援の仕方について、深く考えさせられた講演会でした。

(2)大学見学会

2023年7月4日、大学見学会を開催しました。午前中は千葉工業大学津田沼キャンパスを、午後は立教大学の池袋キャンパスを見学しました。千葉工業大学では大学院生によるキャンパスツアーが特に印象的でした。実際に校舎内を見学し、実験室なども直接見ることができたので、理系の大学の雰囲気やダイレクトに知ることができました。

午後見学した立教大学は、建築物に伝統や趣があり、学生の雰囲気は都会的な雰囲気でした。タイプの違う二校を見学し、実際に大学に赴いて雰囲気を知ることが、進路選択には大切であることを学びました。

移動のバス内では進路指導主任の矢坂先生より、入試制度の変化についてご説明いただきました。一般入試・指定校推薦・総合型入試などの細かな違いを学び、進路実現のためには型にはまらず、様々な入試制度を調べ可能性を模索することが大切なのだと感じました。

5 おわりに

進路選択の方法が多岐にわたる時代に変化しています。その中で、PTAとしても子供たちの進路について深く関りたいと思っています。新型コロナ感染が落ち着きを見せる中、様々な進路行事をPTAとして開催し、子供たちへの支援の仕方や言葉がけなど工夫していければと思います。今後とも参加してみたいと思えるPTAに、参加してよかったと思えるPTAとなるように、無理のない範囲で楽しく活動していきたいと考えております。

川越女子高校の進路指導とPTA



埼玉県立川越女子高等学校PTA会長 澤田 貢

1 学校概要

本校は、川越町立川越高等女学校を前身として、今年度で創立113年目となる県内有数の歴史と伝統を誇る女子高です。卒業生は3万人を超え、国内外の幅広い分野で活躍しています。

「学力の向上」と「人格の陶冶」を柱として、学問の厳しさと楽しさを追求するとともに、伝統的に受け継がれている「川女魂」と呼ばれる「自主・自律」の精神により、学業以外にも意欲的・自主的に取り組むことで人間力を育成しています。更に、18年目を迎えた文部科学省の指定事業である「スーパーサイエンスハイスクール」により、世界に羽ばたく幅広い知性を身につけた次世代の女性科学者を育成しています。

(1) 学力の向上と人格の陶冶

授業時間をできるだけ確保するため、2学期制と65分授業の実施に加え、隔週での土曜授業を実施することで、週36単位の教育課程により、高度で豊富な内容をしっかり学習できるようにしています。

更に、2年生まで共通の教育課程で学ぶことで、将来、国際社会で活躍できる幅広い知識と教養を身につけることができます。

(2) スーパーサイエンスハイスクール指定校

文科省指定の指定を受け、現在第4期18年目になります。理科と数学に重点を置いた教育を推進することで、幅広い知性を身につけたゼネラリストと未来を求め活躍できるスペシャリストの育成を目指します。主な取組内容は以下のとおりです。



- ・1年生から課題研究を実施
- ・サイエンスツアー
- ・英語プレゼンテーション講座
- ・オーストラリア海外研修
- ・教科間連携
- ・サイエンス教室

2 進路指導とPTA

(1) PTAの組織

・本部

会長、副会長、常任理事（各委員会の委員長）で構成されます。高P連関係の様々な活動に参加し、PTA活動に関する見識を深めるとともに、他校のPTAの方々との親睦を図っています。また、定期的に本部会を実施して、本校のPTA活動の円滑な運営を進められるようにしています。



PTA 主催「卒業式セレモニー」

・総務委員会

体育祭の運営支援と、PTAの研修旅行を企画します。昨年度はコロナ禍のため研修旅行が実施できなかつたので、代わりに保護者が川女生を体験する「川女体験」を企画し、160名の参加がありました。コロナで保護者が学校に来る機会が減った中で、川女を大いに満喫でき、大好評のイベントとなりました。

・文化教養委員会

会員対象のワークショップとコンサートを企画します。昨年度は「シャルキイロマ」のコンサートと「クリスマススワッグ」制作のワークショップを企画し、今年度は「アロマワックスサシェ」制作のワークショップを7月に実施し、11月5日には「マリンバ」のコンサートを実施しました。



アロマワックスサシェ制作の様子



「シャルキイロマ」コンサート

・進路委員会

進路指導の先生方と協力して、保護者のための進路行事を企画して実施します。

・広報委員会

P T A 広報誌「かわじょ」を7月と3月に発行しています。以前年3回発行していたものを年2回にしてからは、ページ数を増やして工夫を凝らし、皆さんに学校の教育活動や生徒の様子等が伝わる紙面作りを心がけています。

(2) 川女の進路指導

本校では生徒一人一人の目的意識を育て、それを実現できる力を身につけることを主眼に、進路指導を行っています。主体的で対話的な日々の授業で身につけた幅広い学力を、更に伸ばし生徒の進路希望を実現するため、新大学入試に対応した組織的な進路指導を行っています。

1、2年生では授業内容定着のための補習を実施し、2、3年生では大学入試への対応を考えた課外補習を実施しています。2年生前期に難関大受験ガイダンスを実施し、3年生からは各科目で難関大学に向け個人指導を実施しています。

隔週での土曜授業のない土曜と日曜及び祝日には学習室として教室等を開放し、生徒の自主的な学習を支援しています。



令和5年3月の主な進学実績を上げると、国公立128名合格、早慶上理135名合格、GMARCH429名合格等です。

主な合格校と合格者数

(令和4年度)

※()内は過年度卒業生を表す(内数)

主な国公立大学		主な私立大学		その他			
	群馬	1	成蹊	13 (4)	城西	7 (1)	
	宇都宮	1	成城	23 (2)	大妻女子	7 (1)	
埼玉	23 (2)	北海道	1 (1)	武蔵	35 (4)	学習院女子	7 (3)
東京学芸	14	秋田	1 (1)	日本	42 (9)	東京薬科	6 (1)
お茶の水女子	10 (1)	岐阜	1 (1)	東洋	93 (7)	日本獣医生命科学	5
東京外国語	7	東京都立	9	駒澤	13 (1)	麻布	5
一橋	6	埼玉県立	4	専修	21 (4)	聖路加国際	4
東京農工	4 (1)	国際教養	1	芝浦工業	18 (2)	酪農学園	3
横浜国立	4 (1)	千葉県立保健	1	工学院	12 (3)	東京慈恵会医科	2
筑波	4 (1)	芸術文化観光専	1	東京電機	13 (1)	高崎健康福祉	2
信州	4 (1)	国公立大学合格者数	128 (15)	東京農業	40 (2)	聖マリアンナ医	2 (2)
電気通信	3			國學院	18 (2)	埼玉医科	1
岩手	3			獨協	22	昭和薬科	1
千葉	3 (1)	早稲田	62 (3)	武蔵野	25 (3)	東京医科	1
大阪	2	慶應義塾	14 (4)	明治薬科	14	東京医療保健	1
新潟	2	上智	33 (2)	北里	14 (1)	東京女子医科	1
茨城	2	東京理料	26 (7)	文教	18	日本歯科	1
広島	2	学習院	30 (2)	千葉工業	17 (2)	国際医療福祉	1 (1)
富山	2	明治	96 (11)	明治学院	11 (1)	東北医科薬科	1 (1)
東京	2 (1)	青山学院	32 (1)	東京家政	12	その他	74 (11)
九州	2 (1)	立教	122 (7)	昭和女子	24	私立大学延合格者数	1426 (138)
東京芸術	2 (1)	中央	44 (5)	日本赤十字看護	10	短期大学・その他	
徳島	2 (1)	法政	105 (13)	杏林	13	防衛医科大学校	2
東京工業	1	国際基督教	2	共立女子	12 (1)	国立看護大学校	2
東京医科歯科	1	津田塾	33 (7)	順天堂	9	女子美大短大	1
東北	1	東京女子	68 (4)	東京工科	9	国際文化理容美容専門学校	1
東京海洋	1	日本女子	70 (2)	大東文化	6		

(3) 進路指導とPTAの活動

・総務委員会の活動

生徒だけではなく、多くの保護者に大学を知っていただくために、今年度のPTA研修旅行は大学見学ツアーを実施しました（コロナで休止していたイベントの再開です）。

秋季休業日の9月29日（金）にバス2台で実施し、98名が参加しました。内容は午前中にお茶の水女子大学、午後は東京大学を見学しました、お茶の水女子大学では、卒業生との交流会を開催し、大学生活や、入試時に保護者の応援で良かったことなどの話を聞くことができました。自身の子供の進路に対する考えを深める良い機会となりました。また、東京大学では、学生食堂で昼食を摂り学生気分を味わい、保護者の親睦もより深まった楽しいイベントを開催できました。

・進路委員会の活動

進路委員会では学校の進路指導部と共同で、「保護者のための進路勉強会」と「卒業生による体験談を聞く会」を実施しています。保護者世代が経験してきた受験と現在の受験が大きく異なることから、保護者の進路に対する意識を高め、子供と一緒に受験に対応できるようにするため、1年生の4月から合計5回実施しています。

1年生保護者のための進路勉強会は4月と2月の年2回実施、2年生保護者のための進路勉強会は5月と10月の年2回実施しています。いずれの会も、進路指導主事からの説明をはじめ、それぞれの時期に必要な情報を聞くことができ、多くの参加者から大変参考になったと好評です。



進路指導主事の説明



卒業生による体験談

3年生保護者のための進路勉強会と受験体験談を聞く会は5月に同日開催で実施しました。特に「卒業生による体験談」では、大学選びで悩んだこと、受験期に保護者にして欲しかったこと、してもらってうれしかったこと等を聞くことができ、子供が保護者に何を求めているかを知ることができる貴重な機会となりました。

3 おわりに

本校PTAは、「保護者として生徒を支える」、「保護者も川女を楽しむ」の2つを柱に活動しています。コロナの制限から解放され、コロナ後のニュースタンダードとなるようなPTA活動のあり方を模索しながら、より一層活動の輪を広げていきたいと考えています。

進路実現を目指して

埼玉県立浦和北高等学校 P T A



1 本校の概要

(1) 歴史と教育目標

本校は、昭和53年に開校し、今年度で創立46年目を迎えています。平成8年には、県内の高校として初めて単位制による学習システムを導入するなど、これまで1万5千人を超える卒業生が積み上げてきた歴史と伝統の上に今日の浦和北高校があります。今年度の学級数は25、生徒数は約1,000名です。

本校では、「自律」「向学」「健康」「誠実」の4つを教育目標とし、目指す学校像として「単位制の特色を生かして教養を高め学力向上を図り、地域から信頼される学校」を掲げています。教職員が一丸となって、生徒一人ひとりの個性の伸長を図る教育の実践に努めています。

(2) 単位制の特徴

本校は「単位制」の高校です。生徒は多彩な選択科目から学年に関係なく選択し、一人ひとりの時間割を作って授業を受けます。卒業に必要な単位数が修得できていれば卒業が認定されるというシステムです。

自分の興味関心や進路希望に応じた時間割が作れるということが、大きな魅力となっています。単位制のいちばんの特徴は「自分で選んだ科目を少ない人数で学べる」ことです。今年度の全講座の平均人数は23人となっています。

(3) 部活動と学校行事

部活動も非常に活発で、9割以上の生徒が所属し、日々熱心に活動しています。運動部では、自転車競技部・弓道部が全国大会に、バドミントン部が関東大会に

出場しています。また、サッカー部・バスケットボール部・バレーボール部などが、県大会・地区大会の上位に進出しています。文化部では、写真部が関東写真展に出品したほか、書道部・美術部・演劇部・吹奏楽部・音楽部などがコンクール等で実績を上げています。

学校行事では、5月下旬の体育祭、9月上旬の文化祭は、生徒が中心になって運営します。球技大会・修学旅行なども、生徒の心に残るものになっています。

2 本校の進路指導

(1) 進路指導の概要

進路説明会や大学模擬授業等の進路行事を通し、自分が「将来やりたいことは何か、誰の役に立ちたいか、どう生きていきたいか」について考えていきます。

1年次は「調査の年」、2年次は「行動の年」、3年次は「実現の年」と位置付けています。大学・短大進学に関する指導・相談だけでなく、専門学校への進学や公務員・民間就職への指導も手厚く行っています。

進路室には複数の教員が常駐し、生徒の相談に乗っています。たくさんの資料も充実しています。

(2) 朝学習への取組

始業時間は8:40となっていますが、8:30までに全員が教室に入り、各自勉強をすることになっています。静かな時間をともに過ごし、落ち着いた気持ちで朝の始業を迎えることができます。1日の少しの時間の積み重ねは3年間で大きな学習時間の確保にもなっています。

(3) 夏期講習

本校では、大学進学を見据えて40講座ほどの夏期講習を実施しています。生徒の進路希望に応じて講座内容を工夫しています。生徒は希望する講座を自由に選んでいます。1コマ70分の講義も、真剣に取り組む生徒にとってはあっという間のようなようです。

(4) 進路状況

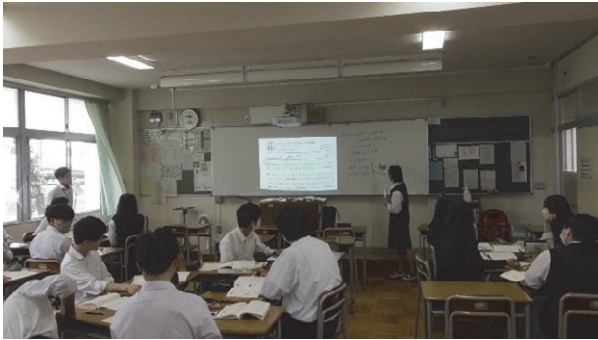
令和5年3月の卒業生(309人)の進路状況です。

大 学	250人(80.9%)	短 大	9人(2.9%)
専門学校	27人(8.7%)	公務員	2人(0.6%)
就 職	3人(1.0%)		

*主な大学など

埼玉・鹿児島・信州・秋田県立・埼玉県立

慶應義塾・早稲田・東京理科・明治・立教・青山学院・中央・学習院・法政



3 本校のPTA活動

(1) 概要

本校は、PTA・後援会を組織し、本校教育の充実・会員相互の親睦を図り、研修等を行ってきました。ここ3年間はコロナ禍で思うような活動ができませんでしたが、今年度から様々な行事をできる範囲で復活させています。

今年度の事業計画は以下のとおりです。

- 4月 入学式・新理事選出。新旧理事連絡会。PTA・後援会監査。
- 5月 年次PTA。総会。
- 6月 北高祭体育の部（体育祭）
- 7月 第1回理事会
- 9月 北高祭文化の部（文化祭）
- 11月 マラソン大会
- 1月 第2回理事会
- 3月 卒業式

(2) 専門委員会

本校PTAには、総務委員会・進路委員会・広報委員会の3つの専門委員会があり、それぞれ活発に活動しています。

今年度の主な事業計画は以下のとおりです。

ア 総務委員会

数回の委員会。歓送迎会（中止）。研修旅行（中止）。文化祭。昼食新年会。

イ 進路委員会

数回の委員会。進路講演会（年3回）。進路ニュースのホームページ掲載（年3回）。オープンキャンパス参加とレポート作成。

ウ 広報委員会

数回の委員会（企画・編集会議。原稿チェック等）。学校行事の撮影。広報の発行（号外と年3号）。卒業を祝う会：DVD上映。

4 P T A進路委員会の活動

(1) 今年度の活動計画

今年度の活動計画は、以下のとおりです。

- 4月 入学式・理事選出
第1回委員会（顔合わせ・今年度事業計画）
- 5月 第2回委員会（進路講演会・進路ニュース）
- 6月 第1回進路講演会
- 7月 進路ニュース57号HP掲載
第3回委員会（進路講演会反省）
- 8月 オープンキャンパス参加・レポート作成
- 9月 進路ニュース58号HP掲載
- 10月 第2回進路講演会
- 11月 第3回進路講演会
- 1月 進路ニュース59号HP掲載
第4回進路委員会

(2) 進路講演会

6月3日に、第1回の保護者対象進路講演会をオンラインで実施しました。進路に関する業者から、大学入試の最新情報と保護者の関わり方等について、説明していただきました。事前申込みは300名を超え、保護者の皆さんの意識の高さがうかがえました。アンケートでは、「次回はこのようなことを取り上げてほしい」といった積極的な回答が多く見られました。

内容についてさらに工夫改善を図っていきたいと考えています。今年度あと2回実施予定です（10月・11月）。大勢の皆さんに参加していただきたいと考えています。

(3) 進路ニュース

本年度、進路ニュースを2回、本校のホームページに掲載しました。

○7月20日、第57号。6月の進路講演会について。

○9月29日、第58号。「オープンキャンパスレポート 2023夏」

今年度あと1回発行予定です（1月）。

(4) まとめ

委員会の活動は、案内作成と集計・講演会の運営・アンケートの集計・進路ニュースの作成など、多岐に渡り、忙しい時期もあります。ただ、多くの保護者の皆さんに参加していただき、様々な情報を発信できることは、委員の喜びにもなっています。これからも協議を重ね、よりよい行事を行い、生徒の進路実現を目指して支援していきたいと考えています。

妻沼高校の進路指導に関わるPTA活動

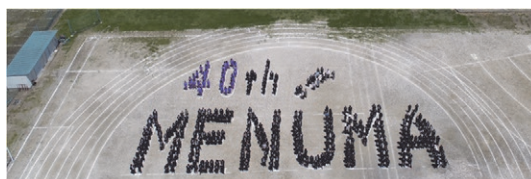
埼玉県立妻沼高等学校 PTA会長 飯田 聡子

1 学校概要

本校は、昭和54年に、地元である旧妻沼町の熱い期待とともに開校して45年目となります。

その間、校訓である「勤勉・努力」をモットーとして、地元をはじめ県内各地で活躍する人材を育成し、7千5百余名の卒業生を輩出しています。「学び直しから大学進学まで」様々な進路実現をはかる生徒の育成に努め、時代の変化に即した学校教育の改革を進めてきました。

現在、在籍生徒数は7月末現在で261名、1・2年生が4クラス、3年生が3クラスの規模となっています。



1) 教育課程

本校の教育課程の特徴は、「学びなおし、つまずき解消、基礎固め」です。そのため、1年生は月曜から金曜まで、毎日1時間目を、学校設定教科「カルティベートタイム」（以下CT）としています。2～6時間目は、普通科の高校として、基礎的な教科を配置しています。2年生からは、CTは週3時間になりますが、それでも、基本的に1時間目に置いています。これは、CTが、一日の学校生活をより良いものとしていくための「姿勢づくり」の役割も担っているからです。

この時間の中で、「読書活動」「黙想」といった活動を取り入れ、落ち着いた雰囲気の中で勉強ができるようにしています。3年生になると、それぞれの生徒の多様な進路希望に対応し、商業、家庭、保育などの選択科目を設定しています。

CTの導入の経緯として、自ら学び自ら考える力を持つとともに、基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけるために、埼玉県の公立高校で初めて、主要5教科（特に国数英）に関する基礎・基本を確実に身につけるための学習を、「学校設定教科」として平成20年4月に導入しました。その結果、

時間	月	火	水	木	金
1	カルティベートタイム				
2	科学と人間生活	保健	公共	体育	科学と人間生活
3	芸術	現代の国語	芸術	数学1	英語1
4	公共	家庭総合	英語1	地理総合	家庭総合
昼休み					
5	現代の国語	数学I	体育	言語文化	地理総合
6	体育	英語1	数学1	LHR	総探

令和元年10月には、生徒の自己肯定感を高め、落ち着いた学校づくりにつながったことが評価され、埼玉・教育ふれあい賞を受賞しました。

妻沼高校のカルティベートタイムの実践は、現在も常に進化・充実し続けています。まず、担任、副担任を中心として、様々な教科の先生方がこのCTを担当するため、詳細かつ効率的なマニュアルが必要です。そこで、毎年、マニュアルの改訂を行い、新学習指導要領に沿った授業とするための評価の工夫をしたり、埼玉県で普及を進める「ジグソー法」の成果を参考に、生徒同士の学びあいやICT活用による「主体的・対話的で深い学び」をとおして

少しずつ採用するなどしています。



【カルティベートタイムの様子、本校のマスコットキャラクター・ベートン君とカルティちゃん】

大きな変化は、「コグトレ」「コグトレオンライン」の導入で、特にオンライン化は、今年度新生からタブレット購入が始まったのに合わせて進めました。

コグトレは、『ケーキの切れない非行少年たち』の著者、宮口幸治氏が考案した認知作業トレーニングです。見る力や聞く力のゆがみを整え、学習の基礎体力である認知機能を強化するため、様々な作業学習を行います。教育では「まねる」とか「言葉を使って伝える」などを重視してきました。その際、認知機能に乱れがあると、うまくいかず、生徒はそこから学びをやめてしまいます。「コグトレ」では、認知作業トレーニングにより、様々な学習を円滑に行うために必要な、広い「土台」を身につけます。

2) 「母校を誇れる生徒を育てる学校」(目指す学校像)と進路指導

CTの説明において、「自己肯定感」の話をしましたが、本校の目指す学校像は、「母校を誇れる生徒を育てる学校」です。卒業生の進路は多岐にわたっていますが、進路指導の基本としては、1年生で「自分を知る」「働くということについて知る」、2年生では「自己を高める」「進路の方向性を定める」、そして3年生では、「それぞれの志望先に応じた能力を向上させ、進路を決定する」ことを目標にしています。

本校の進路指導の特徴は、「一人一人に応じてきめ細かく指導する」ことです。例えば、進学するにしても就職するにしても、身だしなみを整え、丁寧な言葉遣いをし、作文、論文や受け答えでしっかり自己をPRできるよう、指導をしています。そのためには、1～3年を通じてキャリア教育と日々の教科学習、学校行事や部活動などを、同じ目線で指導していかなくてはなりません。校訓「勤勉・努力」と、「礼儀」「身だしなみ」「時間厳守」のスローガンのもと、教師が一丸となって「チーム妻沼」で生徒を育成しています。

写真は、昨年度の文化祭の様子です。生徒がコロナ禍で様々な制約がある中でも工夫して作り上げていました。カルチャー(文化)と同じ意味で使われるカルティベートという言葉は、「耕す」という意味がありますが、そのほか、「涵養する」という意味もあります。「少しずつ水がしみこむように」可能性を持った生徒の能力を高めていくということです。教員と保護者それぞれの役割の中で連携し、子供に良い影響を及ぼしあい、卒業時には「妻沼高校を母校として誇れる」ようになることを願っています。



3) 生徒進路状況

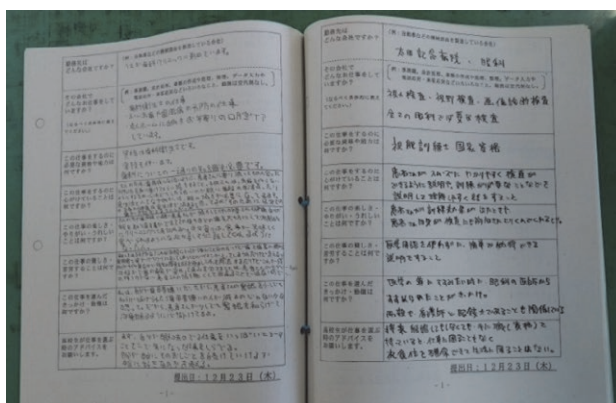
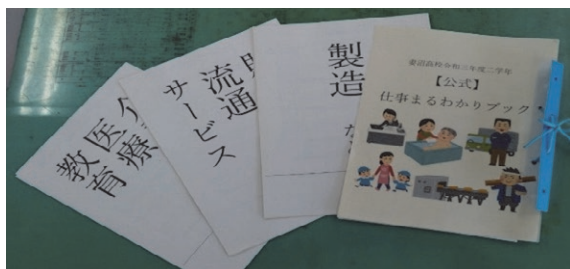
年度	就職	就職(自己開拓)	大学・短期大学	大学校・専門学校
平成30	54	3	8	36
令和元	48 (2)	3	15	34
令和2	34	8	9	26
令和3	25	6	19	34
令和4	43	3	9	18
割合 (%)	50.6	3.5	10.6	21.2

生徒進路状況の経年変化(上表)のうち、令和4年度の進路状況は、就職が43名(自己開拓も含め46名)。就職を希望する生徒の企業内定率は、100%を達成しています。大学・短大は9名、専門学校が18名でした。

2 進路指導とPTAのかかわり

1) 仕事まるわかりブック(下の写真)

令和4年度3年生が2年生の時に、「生徒たちが、勤労観などについてしっかりとした意識を持てるように」活用しました。保護者との家庭での関わりをとおして、生徒が「職業や職種について質問」し、保護者が「経験をもとに回答できる」ようなワークシートとなっていて、生徒は家庭における質問・回答をまとめます。内容は、「資格・能力について」や、仕事の難しさ、仕事を選ぶ動機など、様々です。これが、後で生徒が3年生になってから主体的に進路決定に臨めるような動機付けになりました。



2) PTA活動・進路研修会

キャリア教育の中で生徒が進路について学ぶ中、多くの生徒を受け入れていただいている学校等を保護者が訪問し、保護者がどのように生徒の進路選択にかかわっていけばよいかを考える一助とするため、また、保護者間の交流を深めるとともに、進路に向けての最新の動向などについて情報交換を図るため、令和4年度は、進路研修会を実施しました。

訪問した関東工業自動車大学校は、国家資格を有する整備士のスペシャリストを育成する学校です。車離れが始まっている昨今、自動車産業への就職不安があります。しかし、関東工業自動車大学校では、充実した教育を行い、必要とされるエンジニアを育成しています。

実際に訪れて驚いたのは、広々とした清潔な施設です。その施設に充実した設備を完備し、礼儀正しく生き生きと学ぶ生徒さんたちの姿に感心しました。日産サテリオ埼玉の社長

様よりいろいろなお話をいただき、一概に整備士といっても多種多様な業種においてニーズがあり、卒業生たちは多岐にわたる現場で活躍しているということでした。



また自動運転システムを体験するなどし、これらは学校訪問をしなければ知りえない貴重な情報だと思いました。続いて、妻沼高校卒業生の現役生徒さんから生の声を聴くことができたのも非常に有意義だと感じました。将来の大きな目標を見据え、目の前にある課題にコツコツと取り組む姿を目の当たりにすることで、親も子も具体的に自分と重ね合わせて理解することができると思います。今後もこのような体験に親子ともども参加したいと思える良い機会でした。



3 P T Aと進路指導の今後

本校のP T A活動では、親子のコミュニケーションを促進できるように工夫し、進路に関する事業を実施しています。国立教育政策研究所の調査結果からは、将来について家庭で話す機会が多いと、「将来就きたい希望の職業」をはっきりと選択できる傾向があります。さらに、家庭でのコミュニケーションが多いと、「他者のため」や「自己実現」を重視する傾向がみられます。逆にコミュニケーションが少ないと、「金銭」をより重視する傾向があるとのこと。このことは、県内の多くの学校にも言えることではないかと思います。

従いまして、「親子で進路の選択決定をする」ことをP T Aが広めることが、重要であると考えています。生徒が学校での学びを最大限に生かせるように、学校と連携し、現在の教育環境と社会情勢の中で何が一番大事な事かを考えながら、これからも家庭でのコミュニケーションを大切に「親子で進路の選択決定をする」ことを、P T Aが共有していくことで、進路指導に関する活動をしていきます。そして、妻沼高校をバックアップしていきます。

ペーパーティーチャーセミナー

教員免許はあるものの、全く教職経験のない方や
教職経験はあるものの様々な理由で教職を離れている方に
説明・相談会等を行います。

<対象者>

教員普通免許状を有している方（有効期限超過により失効している方も含みます）で、さいたま市立を除く県内公立学校で勤務を希望する方

<申し込み>

下記QRコードからアクセスし、
応募フォームに必要事項を入力してください。



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

第1回令和5年9月30日（土）

午後1時30分～午後4時30分
彩の国 すこやかプラザ2階大ホール

【申し込み締め切り】9月22日（金）

第2回令和5年10月18日（水）

午後1時30分～午後4時30分 春日部地方庁舎3階大会議室

【申し込み締め切り】10月11日（水）

第3回令和5年10月24日（火）

午後1時30分～午後4時30分 ウェスタ川越4階大会議室

【申し込み締め切り】10月17日（火）

第4回令和5年11月12日（日）

午後1時30分～午後4時30分
彩の国すこやかプラザ2階大ホール

【申し込み締め切り】11月3日（金）

第5回令和5年11月26日（日）

午後1時30分～午後4時30分
熊谷地方庁舎4階大会議室

【申し込み締め切り】11月20日（月）



<内容>

- ・説明Ⅰ（20分）
教員として任用されるまで
- ・説明Ⅱ（15分）
最近の教育事情について
- ・説明Ⅲ（15分）
待遇・福利厚生について
～休憩～ 教科書展示（15分）
- ・教員として働いてみて（経験者談）（25分）
- ・説明Ⅳ（10分）
研修制度・サポート体制について
- ・相談・登録会
70分（相談等希望する方のみ）
※5回とも内容は同じです。

※教員免許状に関する お問い合わせ
は、下記をご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2210/kyoin-menkyo/index.html>

埼玉県教育委員会

[問合せ先] ①小・中学校のお仕事を希望される方
県教育局小中学校人事課 TEL 048-830-6937
②県立高校・特別支援学校のお仕事を希望される方
県教育局県立学校人事課 TEL 048-830-6738

キャリアデザイン・セミナー開催

～進学や就職など自分のキャリアを、企業視点からを考える～

当日の内容

企業経営者と生徒・保護者・関係教員の
四者による面談会を行います。

企業が求める人材像や現代社会の状況な
どから高校や大学等卒業後の自分らしい
キャリアと進路を考えます。



期待できる効果（昨年度の感想から）

生徒

- ・企業経営者から見た自分の特徴や長所がわかる。
- ・社会人になる際の漠然とした不安が解消できる。
- ・自分のキャリアを考える時間となり、これから意識すべきことが整理できる。
- ・学校では経験できない、企業経営者との面談ができる。

保護者

- ・企業人の考え方を、子供と一緒に学べる貴重な機会。
- ・固定的だった進路に対する考え方が広がる。
- ・子供と普段話せない進路について話すきっかけとなる。
- ・子供の人生を見通しながら、目の前の進路を考えることができる。

教員

- ・普段聞くことができない、例えば、企業の評価基準や給与の考え方を知るなど、今後の教科指導力や進路指導力の向上につながる。
- ・生徒が相談している内容から、生徒達のリアルなニーズや悩みを理解できる。

日時・場所

日時 令和6年1月27日（土） 午前の部 9：30～12：30
午後の部 13：30～16：30

※面談時間は一組あたり45分です。終了後、解散となります。

※詳細の時間は開催日の一週間前までに御連絡します。

場所 新都心ビジネス交流プラザ4F（JR埼京線 北与野駅北口より徒歩約2分）
遠方の方は、オンラインでの御参加も可能です。

面談予定者

県内4経済団体から推薦者

<県内4経済団体>

埼玉県経営者協会

埼玉県商工会議所連合会

埼玉県産業振興公社

埼玉中小企業家同友会

※面談者は社長、専務、常務などを予定

申込方法

担任の先生に申し出てください。

申込期日 ○月○日（○）

※ 参加者は、別紙「参加申込書」を御提出
ください

※ 保護者の方の参加が難しい場合は、担任
の先生に相談してください。

埼玉高P連第 38 号
令和5年10月5日

県公立高等学校長 様
県公立高等学校PTA会長 様

埼玉県高等学校PTA連合会
会 長 大竹 雅樹

埼玉県高等学校PTA連合会 ハイスクール24還元事業

「AED設置推進校」の募集について（ご案内）

日頃より、PTA連合会活動への御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当連合会が加盟校保護者様にご案内している「ハイスクール24」について、皆さまのお陰をもちまして多数のご加入いただき、厚く御礼申し上げます。

「ハイスクール24」は、埼玉県高P連が団体契約をすることにより、一般加入より4割超の割引率で加入できるメリットのほかに、事務費等の収益を加盟校に還元できるメリットがあります。連合会では、新たな還元事業の拡大を模索してまいりました。

そして、ヘルメット着用推進事業に加え、今年度は「AED設置推進事業」を新規に企画いたしました。AEDの使用は一刻を争うため、保健室、体育館、校庭、格技場などに各所に設置したい実情がありますし、遠足、長距離走大会など校外行事に携帯したい事情もあります。

このような実情を踏まえ、ハイスクール24還元事業「AED設置推進校」を募集いたしますので、希望される学校PTA様は、下記の要領でご応募いただきますようご案内申し上げます。

記

- | | |
|-----------|--|
| 1 配布機種 | ストライカー社製「サマタリンPADシリーズ」 |
| 2 メンテナンス | 8年間消耗品0円保証、メンテナンス保証 |
| 3 取扱社 | 株式会社ヤガミ（東京都北区）
（商品発送、メンテナンス、オンライン説明会関係） |
| 4 応募受付 | 応募用紙にご記入のうえ、メール送信してください。
E-mailは sai.p@saikoupren.jp です。 |
| 5 応募〆切 | 令和5年10月31日（必着） |
| 6 設置推進校発表 | ハイスクール24の加入状況等により10校選考します。
推進校に決定した学校に11月10日までに連絡します。 |
| 7 設置ケース等 | 別売です。 取扱社まで相談ください。 |